

アスタって 何だった？!

田無駅前にある商業施設、アスタ西東京をご存知だろうか？

駅ビルアスタは今年で十周年を迎える。そこで、「どうしたらアスタが元気になるのか」という考えのもとに、十一月六日にアスタの広場でイベントを開催した。

このイベントには二十名以上の武蔵野大学の学生が参加した。

店主へのインタビューや、グループに分かれ、アスタに対す

る学生の共通する意見をまとめた。そこで、今まで気付かなかったことや、利用するにあたっての、言いづらかった意見を言う事ができ、アスタに対する新たな発見ができたようだ。

日を変えて、十一月十九日に環境学科と人間関係学科の村松陸雄ゼミの学生達はアスタの経営陣に対して、ビルの活性化についてのプレゼン（発表）を行った。

イベントでまとめられた改善すべき点などは、まだ具体的な形で話は進んではない。しかし、これから一緒にアスタの活性化に取り組んで欲しいという

要望があるそうだ。

村松ゼミの学生達に感想を求めたところ「学校が絡んで活性化できたことが良かった。学生ではできない貴重な体験をすることができた。イベントに一年

から参加できたことはいい事だと思う。今まで漠然としていた仕事と言うものがはつきりとわかり、客ではなく作る側の視点を味わえた」（人間関係学科三年 館野預海さん）など、たくさん話をしてくれた。

また、ある学生は、イベントを通して、企業のコンサルタンという職業に関心を持ったそうだ。今後アスタとの関係を築

きながら、空きスペースを学部クラブ問わずイベントや発表会などに活用していきたいようだ。これから、大学生の斬新な意見が企業、地域作りの活性化を手助けしていくであろう。

そして、より多くの学生がこのような活動に興味を持ち、積極的な活動をしていけたらいいのではないだろうか。

また、企業の方々と意見の交換や、企業という現場の空気や状況が、肌で感じられる機会が、これから先増えていくことを期待したい。

（高山美鈴・現社）